

令和5年2月9日(木)
調布市立若葉小学校
第2学年1組29名

1. 領域名 ゲーム (ボールゲーム) (全6時間)

2. 単元名 ボール投げゲーム「島ドッジ」

3. 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
ボール投げゲーム(島ドッジボール)の行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。	簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	ボール投げゲーム(島ドッジボール)に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

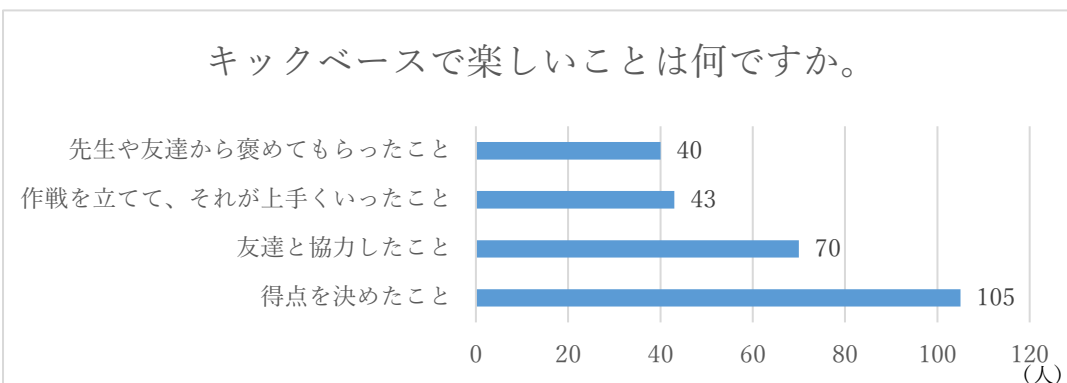
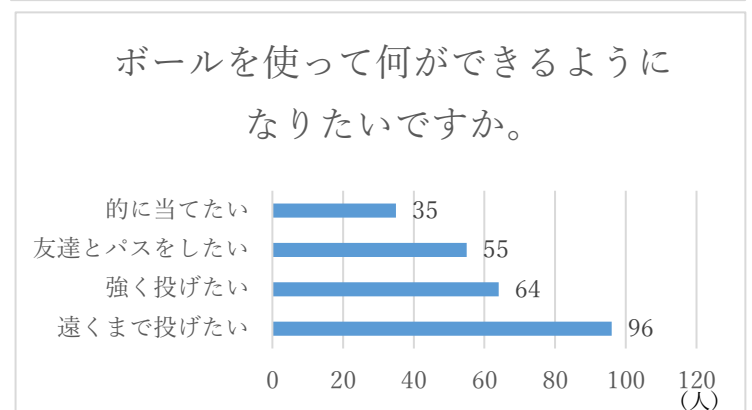
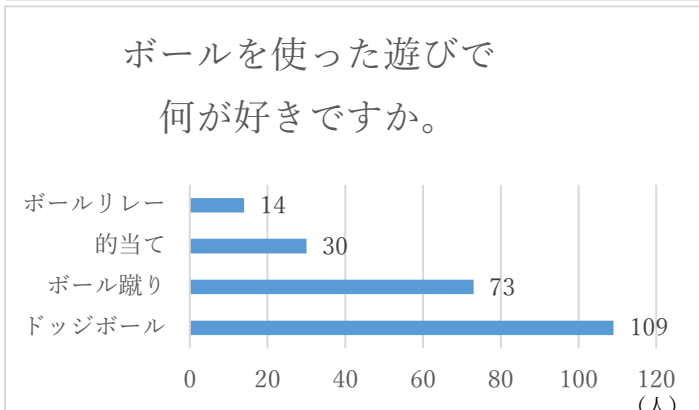
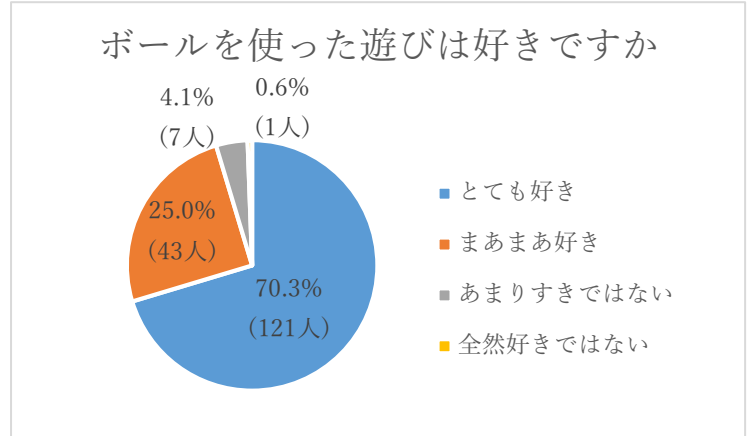
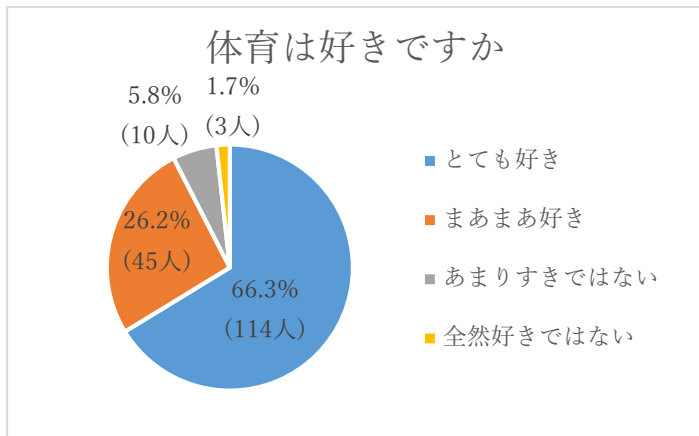
4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な規則を工夫している。 攻め方を選ぶことができる。 考えたことを友達に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ボールゲーム(島ドッジボール)に進んで取り組もうとしている。 規則を守り、誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れようとしている。 場や用具の安全に気を付けて行っている。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① ねらったところにボールを投げることができる。 ② ボールを持たないとき、パスをもらいやすい位置や相手をねらいやすい位置へ移動する動きを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① みんながより楽しめるゲームの規則を考える。 ② 攻め方を見付けたり選んだりしている。 ③ 友達のよい動きや言葉掛けを見付け、考えたことを友達に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ボール運動の練習やゲームに進んで取り組んでいる。 ② 規則を守り、友達と協力してゲームに取り組み、勝敗を受け入れることができる。 ③ 場の準備や用具の片付けを進んで行い、自ら安全に気を付けている。

5. 調査研究

(1) 意識調査・分析・考察

170人の回答



(2) 児童の実態

事前に行ったアンケート調査では、90%以上の児童が「体育が好き」、「ボールを使った遊びが好き」と答えた。また、わずかではあるが、「ボールを使った遊びが好きではない」と回答した児童数は「体育が好きではない」と答えた児童数より少なく、ボールを使った遊びは体育が苦手な児童にとっても比較的取り組みやすい運動であると考えられる。

2学期に行ったキックベースでは、約40%の児童が「友達と協力したこと」が楽しかったと答えたものの、「作戦を立てて、それが上手くいったこと」や、「先生や友達から褒めてもらったこと」が楽しかったと答えた児童数は25%程度であった。このことから、友達と一緒に運動することには魅力を感じているものの、作戦を立てるなどの具体的な協力の手だてを取ったり、友達と声を掛け合って認め合ったりする活動に魅力を感じている児童は、多くはないのではないかと考えた。そのため、ボールを使った遊びの中で好きという回答が最も多かった「ドッジボール」を軸に、児童が求めている「強く・遠くにボールを投げたい」という意欲と結び付けながら、友達と協力したり、声を掛けて認め合ったりする楽しさを児童が感じられるような活動を行っていくことが必要であると考えた。そこで、本研究では、ボール投げゲームの「島ドッジ」を扱うこととした。

6. 基礎研究

(1) 運動の特性

<構造的特性>

- ・島ドッジは、一般的なドッジボールを基にアレンジしたゲームである。島ドッジは、通常のコートの内野の中に円形の島があり、その島に相手チームが一人いる。そのため、遠くまで投げる前段階として、友達とパスをスムーズに回したり、ねらったところに強さを考えて投げたりすることができる運動である。

<機能的特性>

- ・ボールに対し恐怖心がある児童や投げる動きに苦手意識がある児童でも、柔らかいボールを使用したり、ボールの大きさを工夫したりすることで、楽しむことができる運動である。

<効果的的特性>

- ・運動する中で、ねらったところに投げる力などの「巧緻性」を身に付けることができる運動である。
- ・ゲームのルールを理解し、攻め方や守り方を身に付けることで、友達と話し合ったり、協力したりする力を身に付けることのできる運動である。
- ・ルールに従ってゲームをし、勝敗を素直に認めるなど、公正な態度を養うことができる運動である。

(2) 系統性

低 学 年	<p>《ボールゲーム》</p> <p>ボールゲームでは、その行い方を知るとともに、簡単なボール操作と簡単な攻めや守りの動きなど、ボールを持たないときの動きによって、コート内で攻守入り交じり、的やゴールに向かってボールを投げたり蹴ったりする簡単な規則で行われる易しいゲーム（ゴール型ゲームに発展）、攻めと守りが分かれたコートで、相手コートにボールを投げ入れる簡単な規則で行われる易しいゲーム（ネット型ゲームに発展）、攻めと守りを交代しながら、ボールを手などで打ったり、蹴ったりする簡単な規則で行われる易しいゲーム（ベースボール型に発展）などを行うこと。</p> <p>[例示]</p> <p>○的当てゲーム ○シュートゲーム ○相手コートにボールを投げ入れるゲーム</p> <p>○攻めがボールを手などで打ったり蹴ったりして行うゲーム</p> <ul style="list-style-type: none">・ねらったところに緩やかにボールを転がしたり、投げたり、蹴ったりして、的に当てたり得点したりすること。・相手コートに緩やかにボールを投げ入れたり、捕ったりすること。・ボールを捕ったり止めたりすること。・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入ること。・ボールを操作できる位置に動くこと。
-------------	---

<p>中 学 年</p>	<p>《ゴール型ゲーム》</p> <p>ゴール型ゲームでは、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たない時の動きによって、コート内で攻守入り交じって、ボールを手や足でシュートしたり、空いている場所に素早く動いたりする易しいゲームをすること。</p> <p>[例示]</p> <p>○ハンドボール、ポートボール、ラインサッカー、ミニサッカーなどを基にした易しいゲーム（味方チームと相手チームが入り交じって得点を取り合うゲーム）</p> <p>○タグラグビー、フラッグフットボールなどを基にした易しいゲーム（陣地を取り合うゲーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、シュートをしたり、ゴールにボールを持ち込んだりすること。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動すること。
<p>高 学 年</p>	<p>《ゴール型》</p> <p>ゴール型では、その行い方を理解するとともに、投げる、受ける、蹴る、止める、運ぶ、手渡すといったボール操作とボール保持者からボールを受けることのできる場所に動くなどのボールを持たないときの動きによって、攻撃側にとって易しい状況の中でチームの作戦に基づいた位置取りをするなどの攻守入り交じった簡易化されたゲームや陣地を取り合う簡易化されたゲームをすること。</p> <p>[例示]</p> <p>○バスケットボール、サッカー、ハンドボールなどを基にした簡易化されたゲーム（攻守が入り交じって行うゴール型）</p> <p>○タグラグビーやフラッグフットボールなどを基にした簡易化されたゲーム（陣地を取り合うゴール型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くにいるフリーの味方にパスを出すこと。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすること。 ・ボール保持者と自己の間に守備側が入らないように移動すること。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをすること。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすること。

【参照】 小学校学習指導要領解説-体育編-

<p>《易しいゲーム》</p> <p>ゲームを児童の発達の段階を踏まえて、基本的なボール操作を行い、プレイヤーの人数（プレイヤーの人数を少なくしたり、攻める側のプレイヤーの人数が守る側のプレイヤーの人数を上回るようにしたりすること）、コート広さ（奥行きや横幅など）、ネットの高さ、塁間の距離、プレー上の緩和や制限（攻める側のプレー空間、触球方法の緩和や守る側のプレー空間、身体接触の回避、触球方法の制限など）、ボールその他の運動用具や設備などを修正し、児童が取り組みやすいように工夫したゲームをいう。</p>	<p>《簡易化されたゲーム》</p> <p>ルールや形式が一般化されたゲームを児童の発達の段階を踏まえ、実態に応じたボール操作で行うことができ、プレイヤーの人数（プレイヤーの人数を少なくしたり、攻撃側のプレイヤーの人数が守備側のプレイヤーの人数を上回るようにしたりすること）、コート広さ（奥行きや横幅など）、ネットの高さ、塁間の距離、プレー上の制限（攻撃や守備のプレー空間、触球方法など）、ボールその他の運動用具や設備などを修正し、児童が取り組みやすいように工夫したゲームをいう。</p>
--	--

【参考】 文部科学省 学校体育実技指導集資料第8集「ゲーム及びボール運動」

7.研究主題に迫るための具体的な手だて

【「わかる」ための手だて】

①技能向上に向けたスモールステップ

シューティングスター、パワフルシュート、みんなでジャベろうに取り組ませることで、投げる動きについての技能向上を図った。このことで、児童が投げる動きのポイント「肘を高く上げる・体を回転させる・足を踏み出す・手首のスナップ」を理解して、友達への言葉掛けがより具体的になることを目指した。

【「かかわる」ための手だて】

②ワークシートの工夫「友達からの嬉しかった言葉掛け・友達のよかった動き」

ワークシートに、友達に関することについて書く欄を設けた。このことで、児童が自分だけでなく、友達のことも意識して学習に臨むことができるようにした。また、全体の場で児童が書いた内容について教師が紹介することで、学級全体で学習に取り組んでいるという意識を高くもてるようにした。

③「チームタイム」と「ほめほめタイム」

チームのめあてを確認したり、ゲームで勝つために話し合ったりする時間「チームタイム」をゲーム前に設定した。このことで、友達と協力しようとする気持ちを高めさせるようにした。

ゲーム等で見つけた友達のよさを伝え合う時間「ほめほめタイム」をゲーム後に設定した。このことで、友達とつながり、安心して学習に取り組めるようにした。

④協働的に学ぶことができるチーム編成



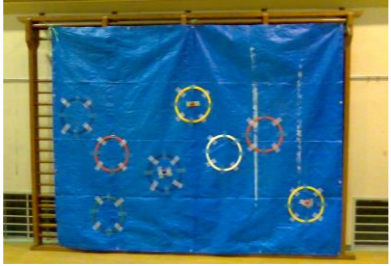
チーム編成については、児童の人間関係と技能面の2点に配慮し、チーム間で大差が出ないようにした。また、児童同士の声の掛け合いや、教え合い、話し合いができるような編成をし、協働的に学ぶことができるようにした。

【「はい、できた」のための手だて】

⑤タブレットを活用した「投げる動きの撮影」

自分の動作を友達に撮影してもらおう場（第1時から第3時まで）を設定した。これにより撮影するときや撮影した動きを見るときに、「肘が上がっていてよかったよ。」など、児童同士が自然にアドバイスし合うことができる。このことで、児童が友達と協力し学習していることを感じられるようにした。

8. 指導と評価の計画

		1	2	3	4 (本時)	5	6																												
		1 あいさつ 2 本時の学習の確認 3 準備運動(わかばスタートアップ)・投げる動きの運動(パッチン体操・トンくる体操・踏み出し体操・紙でっぼう体操)																																	
学習活動		<p>4 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の内容と進め方, 単元のめあての確認 <p>5 投げる動きの習得のためのタスクゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> シューティングスター  <p>バトンを斜め上に投げ, できるだけ遠くまで飛ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなでジャベろう  <p>ジャベボールを手首のスナップを意識して投げる。うまく投げると音が鳴る。</p> <p>6 片付け・整理運動</p> <p>7 振り返り</p> <p>8 あいさつ</p>	<p>4 タスクゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> シューティングスター みんなでジャベろう パワフルシュート  <p>新聞紙を丸めたボールを的に向けて, 力強く投げる。</p> <p>5 ドッジボール(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームの行い方やルールについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はじめのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 チーム 7~8 人 ボールは 1 個 元外野は 2 人で, ゲーム中に内野に入る。 ボールを当てられたら, 外野に出る。 外野は, ボールを当てたら内野に入る。 1 ゲーム 5 分で, 外野の人数が少ないチームが勝ち。 </div> <p>6 片付け・整理運動</p> <p>7 振り返り</p> <p>8 あいさつ</p>	<p>4 タスクゲーム</p> <p>5 島ドッジボール (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームの行い方やルールについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はじめのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ドッジボールのルールと基本的に同じ。 相手コートに 1 つ島を置き, 1 人入る。 島はチームで相談して置く場所を決める。 島に入っている人は, 当てられない。 </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>白</td><td>青</td></tr> <tr><td>緑</td><td>黄</td></tr> </table> <p>6 片付け・整理運動</p> <p>7 ほめほめタイム</p> <p>8 振り返り</p> <p>9 あいさつ</p>	白	青	緑	黄	<p>4 タスクゲーム</p> <p>5 チームタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム内の役割と島の置き場所を決める。 <p>6 島ドッジボール①</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>白</td><td>青</td></tr> <tr><td>緑</td><td>黄</td></tr> </table> <p>7 ほめほめタイム</p> <p>8 島ドッジボール②</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>黄</td><td>緑</td></tr> <tr><td>白</td><td>青</td></tr> </table> <p>9 片付け・整理運動</p> <p>10 振り返り</p> <p>11 あいさつ</p>	白	青	緑	黄	黄	緑	白	青	<p>4 チームタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの課題を確認する。(作戦を立て, 役割や動きを確認する。) <p>5 島ドッジボール①</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>緑</td><td>青</td></tr> <tr><td>黄</td><td>白</td></tr> </table> <p>6 ほめほめタイム</p> <p>7 島ドッジボール②</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>黄</td><td>白</td></tr> <tr><td>青</td><td>緑</td></tr> </table> <p>8 片付け・整理運動</p> <p>9 振り返り</p> <p>10 あいさつ</p>	緑	青	黄	白	黄	白	青	緑	<p>4 チームタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの課題を確認する。(作戦を立て, 役割や動きを確認する。) <p>5 島ドッジボール①</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>青</td><td>白</td></tr> <tr><td>緑</td><td>黄</td></tr> </table> <p>6 ほめほめタイム</p> <p>7 島ドッジボール②</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>白</td><td>黄</td></tr> <tr><td>青</td><td>緑</td></tr> </table> <p>8 片付け・整理運動</p> <p>9 振り返り</p> <p>10 あいさつ</p>	青	白	緑	黄	白	黄	青	緑
	白	青																																	
緑	黄																																		
白	青																																		
緑	黄																																		
黄	緑																																		
白	青																																		
緑	青																																		
黄	白																																		
黄	白																																		
青	緑																																		
青	白																																		
緑	黄																																		
白	黄																																		
青	緑																																		
評価	知識・技能	①(観察)			①(観察)	②(観察)																													
	思考・判断・表現		①(観察・学習カード)		②(観察)	③(観察・学習カード)	②(観察・学習カード)																												
	主体的に学習に取り組む態度	③(観察)	①(観察)		③(観察)		②(観察)																												

9. 本時の学習 (4/6 時間目)

①本時のねらい

友達のよい動きや言葉掛けを見付けて、伝え合いながら、ゲームに取り組むことができるようにする。

②展開

学習内容・活動	○支援 ☆評価
1 あいさつ 2 本時の学習の確認	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 友達のよい動きや言葉掛けを見付けて伝えよう </div>	
3 準備運動 (わかばスタートアップ) 投げる動きの運動 ① パッチン体操…肘を上げる。 ② トンくる体操…体の回転を意識する。 ③ 踏み出し体操…踏み出した力を使って投げる。 ④ 紙でっぽう体操…手首のスナップを利かせる。 4 投げる動きの習得のためのタスクゲーム ・シューティングスター バトンを斜め上に投げ、できるだけ遠くまで飛ばす。 ・パワフルシュート 新聞紙を丸めたボールを的に向けて、力強く投げる。 ・みんなでジャベろう 手首のスナップを意識して、ジャベボールを投げる。 うまく投げると音が鳴る。 5 チームタイム ・チームでの役割や島の置き場所について話し合う。 6 島ドッジボール① 7 ほめほめタイム ・自分が見付けた友達のよい動きや言葉掛けを伝え合う。 8 島ドッジボール② 9 片付け・整理運動 10 振り返り 11 あいさつ	○関節可動域を広げることで、けがの防止につなげるとともに、心拍数を高めることで、主運動時の心肺への急激な負担を軽減する。 ○投げる動きの基礎動作を身に付ける。 ○動きのポイントを確認しながら行うよう声を掛ける。 ○友達のよい動きや言葉掛けを見付け、伝えながら取り組むことができるようにする。 ☆投げる動きを意識して、ねらったところにボールを投げる能够做到ているか。【知・技】(観察) ○チームごとに集まり、チームでの役割や島の置き場所について確認できるようにする。 ○児童全員にボールを投げる意識をもたせるために、ボールを投げた児童は、赤白帽子を裏返し赤にする。 ○チーム内でよい声掛けやよい動きを見付け声を掛ける。 ☆友達のよい動きや言葉掛けを見付けながら、協力してゲームに取り組む能够做到ているか。 【思・判・表】(観察・学習カード) ○児童からでたよい動きや言葉掛けを集めて体育館に掲示していき、いつでも確認できるようにする。 ○めあてに対する振り返りを学習カードに記入するように声を掛ける。 ○よい言葉について、増やしていく。よい動きを他チームも取り入れるよう確認する。



【たんげんのめあて】

- ・友だちのよいところを見つけながら、ボールゲームを楽しもう。
- ・なげ方名人「ひじ・パン・クルツ・シュツ」。

2年__組 名前_____

【紙でっぼうの作り方】

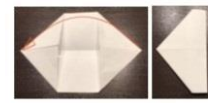
①半分において、おり目をつける。



②おり目に合わせておる。



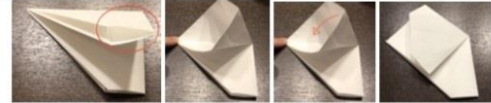
③ちょう点どうしが、かさなるようにおる。



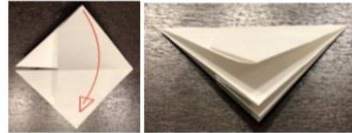
④おり目でおる。



⑤ひらいて、たたむようにおる。はんたいがわも、同じようにおる。



⑥おり目でおる。



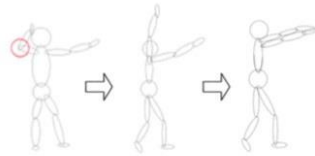
⑦かんせい



【わかばスタートアップ】

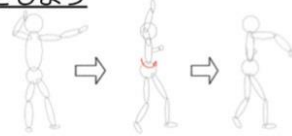
●パッチン体そう

※ひじを上げよう



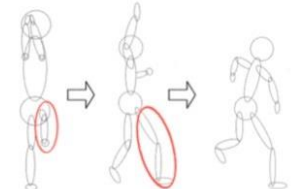
●トンくる体そう

※体の回てんをいしきしよう



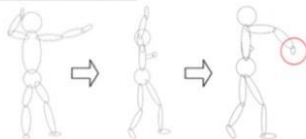
●ふみ出し体そう

※ふみ出した力をいしきしよう



●紙でっぼう体そう

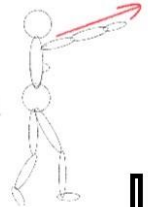
※手首のスナップをいしきしよう



【タスクゲーム】

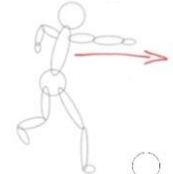
●シューティングスター

※ななめ上を目がけてなげよう



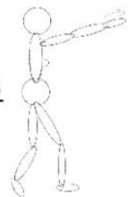
●パワフルシュート

※力強くなげ当てよう



●みんなでジャベろう

※手首のスナップをいしきしよう



【学習のめあて】

なげるうごきのポイントをかくにんしよう。

【自分のめあて】

Blank oval shape for personal goal.

【友だちよかったうごき・うれしかった言葉（ことば）】

名 前	よかったうごき・うれしかった言葉（ことば）
<small>(はい)</small> わかば たろうさん	・ひじをしっかりあげて投げた。 ・やった！また当てられたね。

【ふりかえり】

いろいろなうごきにとりくむことができた △ ○ ◎

Blank rectangular box for reflection.

【学習のめあて】

友だちのようごきやことばかけを見つけて、ゲームを楽しもう。

【自分のめあて】

Blank oval shape for personal goal.

【友だちよかったうごき・うれしかった言葉（ことば）】

名 前	よかったうごき・うれしかった言葉（ことば）
<small>(はい)</small> わかば たろうさん	・ひじをしっかりあげて投げた。 ・やった！また当てられたね。

【ふりかえり】

いろいろなうごきにとりくむことができた △ ○ ◎

Blank rectangular box for reflection.

【学習のめあて】

ねらったところになげよう。

【自分のめあて】

Blank oval shape for personal goal.

【友だちよかったうごき・うれしかった言葉（ことば）】

名 前	よかったうごき・うれしかった言葉（ことば）
<small>(はい)</small> わかば たろうさん	・ひじをしっかりあげて投げた。 ・やった！また当てられたね。

【ふりかえり】

いろいろなうごきにとりくむことができた △ ○ ◎

Blank rectangular box for reflection.

【学習のめあて】

友だちのようごきやことばかけを見つけて、つたえ合おう。

【自分のめあて】

Blank oval shape for personal goal.

【友だちよかったうごき・うれしかった言葉（ことば）】

名 前	よかったうごき・うれしかった言葉（ことば）
<small>(はい)</small> わかば たろうさん	・ひじをしっかりあげて投げた。 ・やった！また当てられたね。

【ふりかえり】

いろいろなうごきにとりくむことができた △ ○ ◎

Blank rectangular box for reflection.

【学習のめあて】

チームのめあてをを考えて、ゲームをしよう。

【チームのめあて】

Blank oval shape for team goal.

【友だちよかったうごき・うれしかった言葉（ことば）】

名 前	よかったうごき・うれしかった言葉（ことば）
<small>(わい)</small> わかば たろうさん	・ひじをしっかりあげて投げていた。 ・やった！また当てられたね。

【ふりかえり】

いろいろなうごきにとりくむことができた △ ○ ◎

Blank rectangular box for reflection.

【学習のめあて】

友だちのようごきやことばかけを見つけて、ゲームを楽しもう。

【チームのめあて】

Blank oval shape for team goal.

【友だちよかったうごき・うれしかった言葉（ことば）】

名 前	よかったうごき・うれしかった言葉（ことば）
<small>(わい)</small> わかば たろうさん	・ひじをしっかりあげて投げていた。 ・やった！また当てられたね。

【ふりかえり】

いろいろなうごきにとりくむことができた △ ○ ◎

Blank rectangular box for reflection.



ほめほめタイム



タスクゲーム パワフルシュート



タスクゲーム シューティングスター



島ドッジボール



島ドッジボール



振り返り